



育ちが見えた1年でしたか。

校長 入江 やよい

厳しい寒さの冬もそろそろ終わりを告げようとしています。しかし、まだまだ寒い日が続いています。寒さやインフルエンザにも負けず元気に登校し、リニューアルした校庭で安全に遊び、しっかり勉強に取り組む立花っ子。給食をモリモリ食べて大きく成長した立花っ子。たくさんの友だちができた立花っ子。新しい校舎で気持ち良く毎日生活をした立花っ子。今年も楽しい学校生活がおくれた立花っ子たちで学校には笑顔や歓声がいっぱい溢れています。

平成27年度1学期の始業式で、今年は「背筋をのばす」を目標にします。と子ども達に話をしました。今年1年をふり返ってみると、いろいろな学校行事や日々の教育活動の中で、姿勢を正す立花っ子がたくさんいました。朝会で話を聞いている時も背筋をのばしてしっかり聞く子が増えました。授業中も自分で意識して良い姿勢で学習している子を見つけると嬉しくなります。これからも、自らの姿勢を意識できる子どもがより増えるといいなあ。と思っています。立腰の精神は昔から大切にされてきました。健康な生活をするためにも集中力をつけるためにがんばっていきましょう。

さて、立花っ子は身長も体重も兵庫県の平均とほぼ同じ。学力は尼崎市の平均とほぼ同じ。人のために役に立ちたいという意識も高い。夢も持っている。自分の事も大切に好きだ。言われたことはきちんとする等々。良いところがいっぱい育ってきました。学校では、尼崎市の教育長が言われる、さらなる高みをめざし「自分で考えて行動する。」力を育てることを目標にがんばっていますがまだまだ成果が見えません。自分で考える行動するために必要な基本は、①善悪の判断ができる ②人の事を考える ③見通しが持てることだと考えています。①の力がないと、間違った方向に進みます。②の力がないと自分だけ良かったらという行動になります。③の力があれば前もって計画や準備ができます。学校や家庭や地域での生活の中に少しずつ根付いていくと、より良い生活ができ楽しく心穏やかな学校や地域になっていくのではないのでしょうか。これらのことから、子ども達の考えることや行動を大切に褒めています。しかし、できないことや危険なことはしっかり教え話しています。お家でも考えて行動している時を捉え、いっぱい褒めてあげましょう。自信に繋がり生きる力に育っていくことでしょう。

今月は1年間のまとめをしっかりと、なめらかに次の学年に接続できるようにお家でもご協力をお願いいたします。(6年生は中学校進学に向けて)

保護者のみなさんや地域の方々の温かい声かけや見守り、ご支援により子ども達は成長しています。この一年間、立花小学校の教育活動にご支援・ご理解を頂きありがとうございました。感謝いたします。

今月の自慢:6年生以外の下駄箱のくつもきちんとそろうようになりました。

特に3年生ががんばっています。

3月の行事予定

1	火	3年社会見学(文化財収蔵庫) ひな壇準備(5年、1校時)
2	水	6年生を送る会(2校時) お祝い給食
4	金	ボランティア感謝の集い(8:40~9:00) 体育館準備(5年) 卒業式練習開始
7	月	給食説明会(11:00~視聴覚室)
11	金	4年社会見学(大阪市立科学館) 立花中学校卒業式
17	木	創立記念日 立花幼稚園卒園式
18	金	卒業証書授与式予行演習(1,2校時) 給食最終日
19	土	春分の日
21	月	振替休日
22	金	卒業証書授与式準備(5・6校時)
23	水	卒業証書授与式
24	木	体育館片付け(5年)
25	金	修了式 大掃除
26	土	春季休業日



【ボランティアの方々に深く感謝】

立花小学校の子ども達のために、たくさんのボランティアの方々が、お忙しい中、学校教育にご支援いただいております。寒い日も暑い日も登下校を見守っていただいている地域の皆様、校庭の中庭をきれいな花でいっぱいにしていただいている「グリーンサム」の皆様、読み聞かせや大型紙芝居で子ども達に本のすばらしさを伝えていただいている「ブック・ママ」の皆様、いつも本当にありがとうございます。改めて心から感謝申し上げます。3月4日(金)「ボランティア感謝の集い」を体育館で行います。

【卒業証書授与式】

23日(水)の卒業証書授与式には、在校生を代表して5年生が参列します。1年生から4年生はお休みになります。ご家庭での過ごし方について、あらかじめ親子で十分話し合っておいて下さい。

【創立記念日】

17日(木)は立花小学校の創立記念日です。休業日ではありませんので注意して下さい。



〈4月の主な行事〉

- 7日(木) 着任式、始業式
- 8日(金) 入学式
- 12日(火) 離任式

【生徒指導だより】

三月はまとめの時期であるとともに、次の学年への目標ももてるような言葉かけをすることも大切です。植物が明るい太陽の光で育つように、子どもが自ら伸びようとする力は、身近な人に見守られ、励まされて育ちます。「やっぱりだね」などと否定の言葉をかけられると、できないことばかりが気になって自信がもてません。「自分にはできることがある」と気づくと、よりよくなるとうと意欲的になります。子どもたちに成長することの心地よさをぜひ体験させてください。